(仮称) 大江川下流部公有水面埋立てに係る方法書説明会の代替措置**I 事業者の名称、代表者の氏名及び事務所の所在地**

事業者名 名古屋市

代表者 名古屋市長 河村 たかし

所在地 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

事業者名 名古屋港管理組合

代表者 名古屋港管理組合管理者 愛知県知事 大村 秀章

所在地 名古屋市港区港町1番11号

II 対象事業の名称及び種類

名称 (仮称) 大江川下流部公有水面埋立て

種類 公有水面の埋立て

III 対象事業の実施予定地

名古屋市港区大江町及び昭和町地先から南区宝生町及び大同町地内まで

IV 説明会を開催できなかった理由

令和元年12月以降、新型コロナウイルス感染症の感染者の発生が世界各地で続いており、名古屋市内においても令和2年2月14日に初の感染者が確認されて以降、感染者が増加している。また、国からは、イベント等の開催については、感染の広がりや会場の状況等を踏まえて改めて検討するよう要請がなされている。

以上の状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染の拡大を防止し、市民の生命と健康を守るため、方法書説明会の開催を中止した。

V 説明会の開催に代えて講じた措置の内容**1 説明会にて使用を予定していた説明資料の周知**

- ・ 事業予定地周辺の住民への回覧
- ・ 名古屋市及び名古屋港ウェブサイトへの掲載
- ・ 縦覧・閲覧箇所への配架 (7箇所※)

※うち、2箇所は臨時休館中につき縦覧・閲覧を中止

2 事業者による説明ブースの開設**(1) 1回目**

令和2年4月15日 (水) 午前9時30分～正午
南区役所

(2) 2回目

令和2年4月17日（金）午前9時30分～正午
名古屋港情報センター

(3) 3回目

令和2年4月22日（水）午前9時30分～正午
南区役所

(4) 利用者数

4名（1回目 1名、2回目 2名、3回目 1名）

(5) 質問と回答の概要

ア 方法書について

質問) 今回の方法書は工事の方法か。

回答) 環境影響評価の方法についてまとめた図書である。

イ アスファルトマットについて

質問) アスファルトマットが破損しているということか。

回答) 現状は問題ないが、地震時に破損する可能性がある。

ウ 工事の実施時期について

質問) 工事はすぐ始まるのか。

回答) 現在は環境影響評価の段階。埋立免許取得後の着手となる。

エ 施工業者について

質問) 施工業者は決まっているのか。

回答) 決まっていない。

オ 埋立用材について

質問) 埋立てに用いる材料はリニアの残土で決まっているのか。

回答) 決まっていない。

カ 盛土の高さについて

質問) 盛土の高さはどれほどか。

回答) 検討中。詳細は今後決定する。

キ ボックスカルバートの大きさについて

質問) ボックスカルバートのサイズはどれほどか。

回答) 検討中。詳細は今後決定する。

ク 橋梁周辺部の地盤改良の方法について

質問) 橋梁周辺部の地盤改良はどのような方法か。

回答) 検討中。詳細は今後決定する。

ケ 工事車両の走行ルートについて

質問) 工事車両の走行ルートは方法書に示す通りか。大江破碎工場へのごみ収集車等で現状でも渋滞が多い。

回答) 工事車両の主要な走行ルートとして考えている。

コ 埋立て後の堤防等について

質問) 埋立てた後、堤防は残したままか。大江川緑地が西に延びてくるようなイメージか。

回答) 埋立て後は緑地を想定しているが、具体的なことは今後検討する。

サ 地盤の項目について

質問) 評価項目の「地盤」とはどのような内容か。周辺地盤に影響があるのではないか。

回答) 埋立てにより周囲に影響するか検討中である。

シ 生態系の調査について

質問) 生態系の調査とはどのような調査か。

回答) 現況の動物・植物を調査するものである。工事によりどのような影響があるかを今後予測する。

ス 埋立事業について

意見) 埋立てには賛成する。